



第2学期 感謝する子（美しいものを発見する生活）
第4期（11月～12月） 期題「感謝を喜ぶ子どもたち」
 ＊たくさんの人たちからのお世話や自然の恵みによって守られていることを知り、心から感謝することの大切さとすばらしさを身に付ける



クロークコーナー；12月に入りぐっと冷え込み、「さむい、さむい」と言いながら入室してくる子ども達。床暖房の暖かな部屋に入るとホッと一息。寒くなってくると登園が遅くなりがちですが、早目の登園を心掛けていかれるといいですね。さくら組は、今まで難しかった裏返しや、園服の小さなボタンなどが出来るようになってきて、自分で着替える意欲が育ってきました。たんぼ組は、ていねいにたたむことが少しずつ身に付いてきています。3学期も出来た事をほめながら、落ち着いてひとつひとつ丁寧に着替えていかれるように見守っていききたいと思います。すみれ組は、その日の遊びに期待を持って着替えを素早く済ませています。3学期は襟を出したり、裾を整えるなど、身支度も自分で意識出来るように声を掛けていきたいと思います。寒くなると厚着になるお子さんもいますが、風邪をひかない健康な身体作りの為にも、引き続き薄着のご協力をお願いします。

絵のコーナー；色々な行事を体験したことで、楽しかったことを絵に描いたり、季節を感じながら伸び伸びと表現する姿が見られています。さらに、季節を感じ取り入れていかれるようにと園庭の落ち葉を使い、こすり絵を楽しみました。子どもたちの作品を葉っぱの名前あてクイズにしたり、大きな紙にこどものもりの園庭を描き、たくさんの葉っぱや絵の具を使い描くことをしました。また、絵の部屋にクリスマスツリーを出し、子どもたちと飾ったことで、ツリーや雪だるまを丁寧に描く姿もみられています。2学期から色鉛筆を各テーブルに置いたところ、細かいところまで集中し丁寧に描いていくこともできるようになってきています。筆圧の弱い子もいますが、色鉛筆や鉛筆の持ち方と正しい姿勢を個々に合わせて伝えていくと、意識して取り組んでいる姿もあり、来期も引き続き、自分で意識していけるよう接していこうと思います。そして季節や感じたこと体験したことを表現し、集中してじっくりと取り組むことを楽しんでいる経験を重ねていきたいです。冬休み、ご家庭でも鉛筆の持ち方(お箸の持ち方にもつながります)や、背中を伸ばし正しい姿勢を意識しながら、一緒にお絵描きを楽しんでみてください。



造形のコーナー；秋を感じながら、自然のものを利用した造形を子どもたちと楽しんでいきます。特に11月からはお芋、感謝の会のお野菜、園庭の落ち葉を使ったスタンプ遊びがとても盛り上がりました。スタンプコーナーには、一緒にクレヨンを用意した所、スタンプをしたものに絵を加え、動物やお花、人物など、さまざまなものに見立てながらお友だち同士で紹介しあう姿がたくさん見られていました。募金箱作りでは一人ひとりが丁寧に落ち葉のスタンプを押した紙を巻いてあります。自分の分が完成すると、進んでお友だちに作り方を教えてあげようとするなど、子ども同士で伝えあったり思いやる気持ちの育ちも感じられました。またバザーを経験し、ごっこコーナーでお店屋さんごっこが盛り上がる中、レジや品物、射的などを造形コーナーで作るなどコーナー同士でも連携しながら子どもの遊びを深めています。引き続き、子ども同士のやりとりを大切に、たくさんの刺激を受けながら作ることの楽しさを味わっていかれるように取り組んでいきたいです。



表現のコーナー；成道会での先生たちの「てぶくろ」の劇を見て、早速子どもたちによる劇あそびが始まっています。なりたい役になり、「中にいるのはだ～れ?」「わたしも入れて」など、子どもたちなりにイメージしたセリフを言いながら楽しんでいます。周りのお友だちがやっているのを見て、「わたしもやってみたい!」とやってきたり、「次はこいぬ役がいいな」など役を交換したり譲り合いながら、色々な役になり、てぶくろのなかは毎日子どもたちのかわいい動物さんでぎゅぎゅです♪今後は見せ合いっこをしながら、子どもたち同士で刺激し合い表現する楽しさを味わっていききたいと思います。また、ふれあいひろばの演奏会に続いて、クリスマス会では鈴・カスタネット・トライアングルの楽器にも挑戦。みんなで楽器を奏でる楽しさを味わっています。引き続きみんなで演奏したり、劇あそびの楽器にも挑戦しながら、多くの楽器に触れて楽しみたいと思います。



ごっこのコーナー；バザーを経験した子どもたちから「お店屋さんごっこがやりやすい」という声があがりました。子どもたちと一緒に何が必要なのか考えると「看板があるね! チラシを配るのはどう?」などいろいろなアイデアがでました。また「チョコバナナや織紙で作ったバックを売るのはどう?」など子どもたちなりの考えがでました。年長児を中心に造形コーナーで作ってきて、売り場には手作り商品が並びました。また「お金が必要だね」「レジがあるね」と自分たちの経験からお店屋さんのイメージを共有し遊びを広げていく姿がみられています。これからは「ください」や「どうぞ」など友だち同士での言葉のやり取りが丁寧にできるように子どもたちのイメージを大切にしながら、表現していく楽しさを味わっていききたいと思います。



クッキングコーナー；感謝の会で持ってきていただいたたくさんのお野菜・果物は作りたいものを出しあい、持ってきていただいたマイエプロンと三角巾をつけてのクッキングにやる気いっぱいの子どもたち! お野菜は皮をむいたり、食べやすい大きさに切ってスープやお味噌汁、お漬物などを作りました。果物はフルーツポンチ、ゼリー、ジャムなどおいしいデザートにして味わいました硬いものも大きい子に手伝ってもらったり、コツを教してもらったりしながら、おいしいものに変身していく野菜や果物を一つひとつ大切に切ったり、調理している姿がありました。保育者や他の友だちに振る舞い「おいしいね!」「ありがとう」の言葉をかけてもらうと「ぼくたち(私たち)が作ったんだもん!」と誇らしげな顔や嬉しそうなお笑いも…(*o*)クッキングの楽しさや振舞うことの喜びなどを改めて感じる事ができる経験になりました! 寒くなり、ホット麦茶になった麦茶屋さん! 「あったかいねー!」と友だちと一緒にホッと一息つける空間になっています。これからはさらにホッとさせるあったかメニューを子どもたちと考えながら…冬ならではのクッキングを楽しんでいきたいと思います。



自然のコーナー；今年は園庭の木々が、黄色や赤、オレンジ色にとってもきれいな紅葉しました。子どもたちは、きれいな葉っぱを見つけては集め、絵に葉っぱを貼ったり、落ち葉の花束作りをして楽しみました。また、イチョウや栗の葉っぱなど沢山落ちていた時は、木の下で葉っぱ吹雪にして、みんなで楽しみました。素敵な秋の自然にたくさん感動をしていました。盛り上がったのは、数珠玉のプレスレットや指輪作りです。針に糸を通して、数珠玉とビーズをセンス良くつなげ、かわいいアクセサリ作りをしました。男の子も「お母さんにプレゼントする!」と一生懸命作っていたり、年少さんも上手に針を使って作っている姿がありました。12月に入ると、リースや松ぼっくりのツリー作りも人気でした。きらきらビーズや毛糸、園庭のゴールドクレストやピラカンサスの実と一緒に飾って素敵な作品がたくさんできました。子どもたちは美しい自然をこどものもりでたくさん感じ、遊びの中にたくさん取り入れ、自然物の作品作りを通してオシャレなセンスが磨かれました。これから、寒い冬ですが、氷作りや雪遊びなど、冬ならではの遊びを楽しみながら、引き続き感動をしていきたいと思います。



外あそびコーナー；12月に入り、園庭では寒さに負けず白い息をはきながら笑顔で遊ぶ子どもたち。引き続き多くの子が楽しんでいた転がしドッチボールに加え、大縄跳びも盛り上がりました。すみれさんの中には「数人で一緒に」「1回跳んでは抜けて…を皆で繰り返す」と様々な楽しみ方もしていました。そんな姿を見てたんぼ組・さくらさんも郵便屋さんや八の字を楽しむ姿が見られました。又、園庭の真ん中ではマラソンコースが登場。途中にあるちょっとした仕掛け(ゴムをジャンプしたりくぐったり、ケンケンパなど)をクリアしながら楽しく長い距離を走っている子どもたち。大きい子の姿を見て、ちゅうりっぷ・こすもすぐみさんも真似をして一緒に楽しんでいました。益々寒さが厳しくなりますが、寒い時期だからこそ、体を思いっきり動かすことで体の芯まで温められることを楽しく経験しながら、強い身体作りもしていきたいです。

